

平成28年度 当初予算案のポイント(一般会計の概要)

- 就学前児童の教育・保育給付費などの社会保障関係費の増等に伴い、**一般会計の予算規模は27年度当初をやや上回る。**
- 個人市民税における納税義務者数の増加, 法人市民税における企業収益の改善, 固定資産税における新增築家屋の影響などにより, 市税収入は27年度当初より増加。地方交付税等については, 市税収入の増加等に伴い減少。
- 市債発行額を27年度当初を下回る水準にとどめるなど財政規律を保ちつつ、**動き始めた「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環をより確かなものにするために必要な予算を確保し、福岡市を次のステージへと飛躍させるチャレンジを積極的に進めるための予算を編成。**
- 28年度末の一般会計市債残高見込みは着実に減少。

● **一般会計の予算規模は27年度当初をやや上回る**

7,845 億円 (0.3 %)

(平成27年度当初予算)

(7,820 億円)

● 歳 入

○ **一般財源総額は市税の増等に伴いやや増加**

3,965 億円 (0.3 %)

(3,952 億円)

○ **市税は個人市民税・法人市民税・固定資産税の増等に伴い増加**

2,796 億円 (1.9 %)

(2,744 億円)

○ **国・県税交付金は地方消費税交付金の増等に伴い増加**

370 億円 (5.1 %)

(352 億円)

○ **実質的な地方交付税は市税の増等に伴い減少**

605 億円 (▲ 7.6 %)

(655 億円)

(内訳)

・地方交付税 280 億円

(290 億円)

・臨時財政対策債 325 億円

(365 億円)

○ **市債発行額は発行抑制により減少**

706 億円 (▲ 5.7 %)

(749 億円)

(参考) 市債残高見込みは着実に減少

一般会計 12,133 億円 (▲ 111 億円)

[12,244 億円]

全会計※ 22,011 億円 (▲ 391 億円)

[22,402 億円]

※ 満期一括積立金を除く

[] 内は平成27年度末見込み

● 歳 出

○ **扶助費に後期高齢者医療特会・国民健康保険特会・介護保険特会等への繰出金や負担金を加えた社会保障関係費が増加**

2,590 億円 (4.7 %)

(2,473 億円)

○ **高齢者福祉等の充実に向けて保健福祉費を増額確保(+62億円)**○ **子育て環境の充実に向けてこども育成費を増額確保(+53億円)**